

< もくじ >	
1. 第17回大会 基調講演 講師変更とプログラム順序変更のお知らせ	1~2
2. 研究会からのお知らせ	2~3
3. 各研究会の概要報告	3~5

1. 第17回大会 基調講演 講師変更とプログラム順序変更のお知らせ

すでに会員の皆様には総会資料と大会プログラムをお送りいたしました。基調講演をお願いしていた辻哲夫先生がご事情で当日ご登壇いただくことができなくなり、講師が辻先生よりご紹介いただきました高橋紘士先生（一般財団法人高齢者住宅財団特別顧問／前理事長、東京通信大学教授）に変更となりました。それに伴い基調講演は昼休憩の後 13：10 開始に変更になりました。詳細は同送の新しいプログラムをご参照ください。

(1) 日程・会場

- 1) 開催日時：2018年6月23日（土）
- 2) 開催場所：駒澤大学（駒沢キャンパス 1号館202教室）
（東京都世田谷区駒沢一丁目23番1号）

「駒沢大学駅」は田園都市線で渋谷から3つ目（三軒茶屋方面）ですが、急行は停まりません。

(2) 第一部：2018年度定時総会（10：00～11：10）

今年度は、総会議事の他に役員改選があり、臨時理事会後、新役員を紹介します。

(3) 第二部：第17回大会（11：30～16：45）

- 1) 本年度大会テーマ：「支え合うコミュニティの共創—格差と分断を超えて—
持続可能な超高齢社会をめざしてⅢ」
- 2) 会員からの提言
司会：長田攻一（当学会理事）
★碓 正義（当学会会員）
★安田和紘（当学会理事）
- 3) 基調講演：「コミュニティは『格差と分断』のソリューションたりうるか。
～「住まいと住まい方」の視点から」
★高橋紘士（一般財団法人高齢者住宅財団特別顧問／前理事長、東京通信大学教授）
- 4) パネルディスカッション
司会：袖井孝子（当学会会長）
★瑠璃川正子（荻窪家族創設者）
★近山恵子（一般社団法人コミュニティネットワーク協会理事、当学会会員）
★羽賀 睦（NPO法人ワーカーズコープ東関東事業本部）
☆鶴飼英昭（千葉県佐倉市中志津町住民）

(4) 第三部：懇親交流会（17：00～18：30）

駒澤大学 種月館学生食堂内個室

2. 研究会からのお知らせ

(1) 第3回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2018年6月22日(金) 18：00～20：00
- 2) 場 所：内幸町 日本プレスセンター内日本記者クラブ9F ラウンジ
- 3) テーマ：「リタイア後をより良く生きるために」
- 4) 参加費：500円

※お問い合わせは中村 (nakamura@jass.jp) までお願いいたします。

「ライフプロデュース研究会のブログ」を開設しました。シニア社会学会のホームページ上のボタンからご覧いただくか、<http://jaas-lifeproduce.sblo.jp/> よりご覧ください。開催予定や月例会の内容を詳報しております。

(2) 第56回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2018年6月28日(木) 15：00～18：00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第6共同研究室
- 3) 発表者：薄井 滋
- 4) テーマ：「老いのパスポートⅢ」— 老いの自覚とその先にあるもの（日本と英国の老年期をテーマにした小説を読み比べて）

*使用テキスト ①『おらおらでひとりいぐも』若竹千佐子著（河出書房）②『終わりの感覚（原題 The Sense of an Ending）』ジュリアン・バーンズ著（新潮社）

- 5) 参加費：300円

※ お問い合わせは、島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) 迄お願いします。

(3) 第25回「シニアのICT活用」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2018年7月20日(金) 14：00～16：00
- 2) 場 所：（公財）ダイヤ高齢社会研究財団会議室
新宿区新宿一丁目34番5号 VERDE VISTA 新宿御苑 3階 <http://dia.or.jp/access>
- 3) 話題提起者：牧 壮（まき たけし）
（一般社団法人アイオーシニアズジャパン 代表理事）
- 4) テーマ：「全てのシニアをインターネットで繋ぐIoTの世界」
- 5) 参加費：500円

※ 参加のご連絡は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

「シニアのICT活用研究会」は、毎月第3金曜日 14：00～16：00
ダイヤ高齢社会研究財団 会議室にて開催します。なお、8月はお休みです。

(4) 第111回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2018年7月25日(水) 18：00～20：00
- 2) 講 師：込山愛郎（厚生労働省老健局 振興課長）
- 3) テーマ：「平成30年度介護報酬等改訂について」
- 4) 会 場：日本労働者協同組合連合会 会議室
東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル 8階

※ご質問がございましたら、佐藤まで。 090-4436-6853 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp

なお、6月はお休みです。

(5) 第50回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2018年7月31日(火) 16:30~18:30
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室
- 3) 報告者：川副早央里(早稲田大学文学学術院助手)
- 4) テーマ：浜通りにおける災害記憶継承の取り組みと地域再編(仮)
- 5) 参加費：当分の間、頂戴しません。

※7月の研究会は開催時間が早くなりますので、ご注意ください。お問い合わせは、福原(fukuhara@jaas.jp)までお願いいたします。

(6) ガバナンス研究会特別企画

- 1) 日 時：8~9月で、3人以上参加で日程決定
 - 2) 日 程：孺恋村鎌観音堂、郷土資料館、旧街道跡、延命寺跡、鬼押出し園
 - 3) 宿 泊：休暇村孺恋鹿沢
 - 4) 内 容：江戸時代の浅間山「天明の大噴火」被災地の群馬県孺恋村で2泊し、復興して日本一の高原キャベツ村となった現地の被災地跡や資料館を訪ね、火山噴火への防災と減災をガバナンスの視点で学ぶ。
 - 5) 参加費：3万円(2泊5食、資料館入場料、交通費、ガイド料など込み)
 - 6) 集合・解散：休暇村孺恋鹿沢(新幹線上田駅まで無料送迎バス。東京よりマイカ分乗もあり)
- ※申し込みは、川村(kawamura0515@ybb.ne.jp)までお願いいたします。

3. 各研究会の概要報告

(1) 第23回「シニアのICT活用」研究会の報告

- 1) 日 時：2018年5月18日(金) 14:00~16:00
- 2) 場 所：ダイヤ高齢社会研究財団 会議室
- 3) 報告者：阿部治郎(サイバーシニアーズ・ジャパン顧問)
- 4) テーマ：「シニアにとってのSNS」

インターネットの歴史をたどりながら、スマートフォンでできることについての紹介やSNSの誕生とその種類として、シニアの利用率について話され、更に、Facebookをめぐるフェイクニュースや情報流出の問題、その背景にある無料利用と広告収入という事業モデルについて言及されました。

シニアにとってのSNSは、世代間の交流を推進、シニアにとっての交流の場を構築、家族関係・生きがいといった高齢化社会に対応、メールや音楽配信等ネット上のサービスを無償で提供、趣味・嗜好を共にした限定グループの間でのコミュニケーションツール、自己表現等のアクティベーションが増加といった利点が考えられるが、その一方で、個人情報流出の危険性、フェイクニュースに翻弄される危険性の増加があると述べられました。それらに対処するためには、情報源のチェック、SNSでの情報公開の範囲の限定や友達リクエストへの対応などがあると述べられました。

その後フロアと、シニアに対してスマートフォンを教える人材は、利用者であるシニアが何をしたいか何に興味を持っているかを聞き取って、それに対応する使い方を提示できる人ではないか、という議論がされました。(森 記)

(2) 第110回「社会保障」研究会報告要旨

- 1) 日 時：2018年5月23日(水) 18:00~20:00
- 2) 講 師：宮澤 仁(お茶の水女子大学准教授)
- 3) テーマ：「地域の見える化と地理空間解析~健康・医療・福祉へのGISの応用~」
- 4) 会 場：日本労働者協同組合連合会 会議室
東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル 8階

健康・医療・福祉においてGIS(地理情報システム)を用いるのは、①健康水準や生活の質は、主体の状態だけでなく環境との関係性に規定される。②環境を構成する要素は、それぞれに空間的な

広がりや地理的な差違がある、からである。

健康・医療・福祉に関するデータの地理的な分布状況を見ることで、地域的特性の「見える化」を図ることができる。たとえば、死亡率や疾病の発生率が地域によってどう違うのかを見ることによって、健康水準の地域格差が明らかにされる。福祉施設の配置状況や接近可能性を捉えることによって需要と供給の地域的なギャップが明らかにされる。GISには統計データだけでなく、質的データを用いることも可能である。たとえば、街のバリアフリー化がどこまで進んでいるのかを見るには、実際に車いす使用者と街を移動し、その結果を地図上に示すことによって、バリアフリーに関する地域診断が行われる。こうして得られた結果を解析することによって、今後の保健・医療・福祉政策の形成に役立てることが可能である。

従来、健康・医療・福祉に関する地域格差については、もっぱら統計数字を用いて説明されることが多いが、それらが地図上に示されることによって、格差がより一層明白になることに驚かされました。介護予防や地域包括ケアシステム構築の前提として、まず地域格差の見える化を図る必要があることを痛感させられました。福祉地理学という目新しい領域における報告は、社会保障研究会では初めてであり、参加者には目からウロコではなかったでしょうか。（袖井孝子 記）

(3) 第55回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日 時：2018年5月24日（木） 15：00～18：00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第6共同研究室
- 3) 発表者：濱口晴彦座長
- 4) テーマ：「老いのパスポートII」 — エイジングの過程に現れる「生命と生活の乖離」とどう向き合うか —

濱口座長はレクチャーに先立ち、老いるということは、言い換えるとエイジングである。私たちはエイジングについて、どう受け入れるのかを考えてみたい。そしてサブタイトルは問題意識であり、エイジングの過程に現れる「生命と生活の乖離」とどう向き合うかが課題である。「生命と生活の乖離」の裏番組は「貧困と格差」である。レクチャーは多岐に亘る資料により解き明かされたが、今日共産主義という妖怪に代わり、「エイジングという妖怪が徘徊する」時代に移行したとも述べられた。（島村 記）

(4) 第48回「災害と地域社会」研究会の報告

- 1) 日 時：2018年5月29日（火） 18：00～20：00
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室
- 3) 報告者：長田 攻一（早稲田大学名誉教授、「災害と地域社会」研究会座長）
- 4) テーマ：郊外地域におけるマンション自主防災組織の特質と課題
—千葉県S市Y4丁目自主防災委員会を事例として—

本報告は、開発企業主導のニュータウンで、住民自治組織による地域コミュニティの運営について、現在どのような課題を抱えているかを、自治会や自主防災委員会に関わってきた報告者のご経験と、ニュータウン開発の歴史をつなげる形で行われたものと考えます。

今回取り上げられた地域では、1つの開発企業が主導し35年以上にわたり「成長管理型」の開発を目指したニュータウン開発が継続されています。開発の歴史で、公共交通システムや大型商業施設の誘致、介護老人保健施設などを運営する社会福祉法人や地域の防犯・防災サービスを担う子会社の立ち上げなど、様々な住民向けサービスが開発企業主導で実現してきました。また、地域で活動するいくつかのNPOも、企業主導で組織されてきた経緯があります。開発企業と住民・行政との関係で課題もあるようです。

報告者が居住する丁目では、計5棟のマンションの管理組合と丁目の自治会が一体化して、平成16年から全戸一括加入の自治会として活動を行ってきました。自主防災委員会もそうした活動の中で設立され、マンションの建設会社への情報開示要求、住民アンケートの実施、防災イベントの実施などを行ってきました。メンバーは、自治会会長、管理組合理事長、民生委員、高齢者クラブ会長、NPO

団体役員など多様な人物で構成されています。東日本大震災以降は、市や開発企業の子会社職員との関わりも増えてきたとのこと。また、1年任期の自治会役員と周辺団体との関係を媒介するといった意義も持つ組織となってきたようです。しかし同時に、課題があることも指摘されました。委員会内の課題としては、メンバーが高齢者に偏りがちである、固定的なメンバーに支えられる傾向が強いといったことです。自治会や管理組合との関係では、規約上は自治会の傘下にあるにも関わらず、管理組合が多くの取り組みの中心となっていることから位置づけが不安定である、自治会役員の関心が地域の祭りのみに絞られがちといったことです。

こうした現状を踏まえ、①そもそも本格的な人口縮小社会を迎え、開発企業主導のこれまでの開発思想と実状にズレが生じていること、②住民-開発企業-市という三者の意向をいかにすり合わせていくか、③周辺関連組織と自主防災組織との役割分担とすり合わせによる調整が重要、といった今後の課題が提示されました。

本報告は、開発企業主導のまちづくりが長らく展開されてきたこともあり、住民が主体的に自治組織を立ち上げ周辺組織と関係性を構築していく際のハードルがある地域を事例にしていたように思います。全国の様々なニュータウンにおいて表面化している課題も含んでおり、いつ・どこで巨大災害が起こってもおかしくない日本において、本報告のように、ニュータウン開発の経緯も踏まえながらニュータウンにおける防災を検討していくことは、より重要性を増していくテーマのように思いました。（野坂真 記）

《お願い》会員のみなさまにおかれまして、会員情報（メールアドレス、登録住所等）に変更がありましたら、速やかに変更のご連絡をお願いいたします。
毎月お送りしているJAAS News が不達になるばかりか、総会・大会を欠席された会員の皆様にこれから発送するエイジレスフォーラムが差し戻されますと経費もかかりますので、ご協力のほどをお願いいたします。

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX：(03) 5778-4728
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>